

道具の貸し借りについて 説明原稿（話す用）

道具の貸し借りについて話します。

まず、このクラスでは、

 **道具の貸し借りはしない** というルールにします。

「ちょっと貸して」「ちょっと使わせて」という気持ちはわかります。

でも、貸し借りをすると、

- ・壊れてしまった
- ・返ってこなかった
- ・どちらが悪いのかでもめた

——といったトラブルにつながる可能性があります。

みんなが気持ちよく授業を受けるために、
最初から**貸し借り**をしないことが一番安全です。

もし、どうしても道具を**忘れてしまった**ときは、

 **必ず先生に正直に伝えてください。**

ごまかしたり、こっそり借りようとしたりするのではなく、

「忘れました」と素直に言うことが大切です。

そのあとで、先生と一緒に対応を考えましょう。

また、貸す側になる人へも伝えます。

 **原則として、貸さないでください。**

もし貸した場合は、

「返ってこなくても仕方がない」くらいの気持ちが必要です。

それくらい、貸し借りにはトラブルのリスクがあります。

だからこそ、

 **必要な道具はしっかり自分で用意する**

- ✅ 忘れたときは先生に正直に伝える
- ✅ 貸し借りをしないことでトラブルを防ぐ

この3つを徹底していきましょう。

授業に集中できる環境をつくるために、
「自分の道具は自分で管理する」
この意識を大切にしていきましょう ✨